

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 9
要綱上の事業名称	(42) 観光交流センター・物産センター整備事業（事業費）
細要素事業名	田老地区産直・交流施設整備事業
全体事業費	135,432千円
<p>・東日本大震災により壊滅的な被害を受けた田老地区市街地においては、津波をはじめとした災害に対して安全な市街地形成を目的として、浸水が想定されるエリアでの地盤の嵩上げや公共施設整備などの土地区画整理事業が導入されている。</p> <p>・区画整理事業区域における土地利用については、住宅用地の他、災害危険区域内の市有地の有効活用も含め産業、商業系用地への活用を進めており、被災した事業者の再建や「道の駅」整備が予定されている。</p> <p>・当該事業は「道の駅」利用者や防災ツアーなどの観光客に地場産品を販売する施設を同地区内に整備するものであり、観光客との交流によって地域を活性化させ、田老地区の賑わいの創出を図るものである。</p> <p>・また、地区住民同士の交流の場としても活用することで田老地区内住民のコミュニティの形成に寄与し基幹事業である土地区画整理事業における復興まちづくりを促進するものである。</p> <p>■施設概要 産直施設 389㎡（産直 227㎡ 交流スペース等 162㎡）</p> <p>■事業費 125,400千円（税込135,432千円）</p> <p>・工事費 110,000千円（税込118,800千円） @284,160円×389㎡（税8%）</p> <p>・実施設計費 11,000千円（税込 11,880千円） 工事費×10%（税8%）</p> <p>・施工監理 4,400千円（税込 4,752千円） 工事費×4%（税8%）</p> <p>※工事単価（284,160円）は、国交省平成28年度新営予算単価</p> <p>■事業スケジュール 予算措置 平成28年6月 実施設計 平成28年7月～12月（6ヶ月）・・・【平成28年度】 工 事 平成29年2月～平成29年8月（7ヶ月）・・・【平成28・29年度】</p> <p>【今回提出】 実施設計費 11,880千円</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。